

広報

いまり

市の人口

6月1日現在

総人口 62,085人

男 29,266人

女 32,819人

世帯数 15,032世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部5円 昭和45年7月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 197



——健康と体位向上に

なわとび運動を —— (S・45・6・24 大川内小で)

体力づくりに「なわとび」をしましょう。
市教委社会教育課は、体力づくり推進委員会
を設け「なわとび」を市民に普及させようと
具体的な方法の研究を始めました。

近く、「なわとび」の方法を記載したパン
フレットとなわとび用のなわを各世帯に1本
ずつ配布することになっています。

広報こよみ

1日～31日 愛の血液助け合
い運動

9日・23日 交通事故相談

12日 県指定少年団体現地研
究会

17日 法律相談

18日～28日 映画「橋のない
川」上映

27日～8月6日 青少年教育
キャンプ開設

29日 山代町子どもクラブ大会

31日 少年教育現地研究会
☆つごうによって変更するこ
とがあります。

伊万里市は交通安全宣言都市です

カッとする心の動きが 事故のもと

7月

第2回定例市議会

初心を忘れず市政にまい進

竹内市長 市議会で所信表明

伊万里市議会第2回定例会の1日目、竹内市長は、市政に対する所信表明で、

- ◎ あなたや市民みんなの方とじっくり話し合いのできる明るく親しみやすい市政
- ◎ 市内のすみずみまで心の通ったバランスのある市政
- ◎ 国や県と十分にパイプの通う市政

を基本姿勢として、市民の信託に応えるよう努め、市政をあずかる責任者として、初心を忘れず公約の実現を図りたいと述べました。

なお、竹内市長の市政に対する所信と関連させた補正予算の概要は次のとおりです。



▷議会でも信を表明する竹内市長◁

一般会計予算

補正総額 6億 1,300万円

ことは、1970年代の第一歩をふみ出した意義深い年ですが、60年代のわが国は、産業経済のいちじるしい高度成長はあったものの一方、過密・過疎現象・交通事故・公害など社会開発の立ちおくれをもたらしています。

わたくしは、このような1960年代の回顧のうえに立って、市民とともに伊万里市の後進性を打破し、「人間性豊かな社会の建設」を進めなければならないと考えます。

昭和45年度の地方財政は、地方税地方交付税など一般財源に相当の伸びを示すものと見込まれています。

しかし、本市では、当初の減税措置により市税のいちじるしい伸びは

期待できませんが、長期的視野に立って積極的な財政運営に意を用いて経済開発と均衡のとれた社会開発を実施し、市民福祉の向上を達成したいと願っています。

以上のような基本方針で、昭和45年度の最重点施策として

- ◎ 伊万里湾再開発のための基盤整備
- ◎ 農工一体化と産業の振興
- ◎ 産業と生活のための道路の整備
- ◎ 快適で安全な市民生活への努力と社会福祉の向上
- ◎ 心身ともに健全な市民の育成の五つをとりあげ、一般会計補正予算総額は、6億 1,304万円を追加し、歳入歳出予算の総額を29億4,083万円としました。

★★伊万里湾再開発のための基盤整備★★

工業用水道事業に 4億 1,000万円

近年、工業の地方分散が地域開発の中心的課題として積極的にとりあげられ、巨大都市での過集積弊害の顕在化、労働力の不足は、企業の地

方進出の傾向を強めています。

市民の長年の夢である伊万里湾開発についても、現在、着実に前進している木材工業を軸に住宅産業の素

わたしの書く字にはどこまでもわたしが責任をもつんだとされる、その職を辞されても変わらぬ、年を経てもたわまぬ旺盛な責任感に心底から恐れ入ってしまった。いつか、いまの世の中に、ひとり教師という立場の人ばかりでなく、これほどの責任を感じて自分の生活に打ちこんでいる人が果たしてどれほどいるだろうか。

実は、あいさつ文の中でわたしも「声」か「正」かで周囲の人とも検討し、はじめ「正」としていたものを多数の意見で「声」にしてしまった次第で、いま少し推し進めようとおればとくやまれてならない。

しかし、それはともかくこのことで今の世に失われたものが、突然、光と共に見出されたように、ほんとうに胸中かかってない明るさを感じる事ができた。

わたしは、おそらくこれから一字一句に更に注意しそしてそのたびごとに恩師のこの心を思い出し、わたしもそうありたいと願いつけることと思う。

わたしはあらためて、小田先生に感謝し、そしていつまでもご壮健でわたしを見守ってくださることをお祈りしたい。

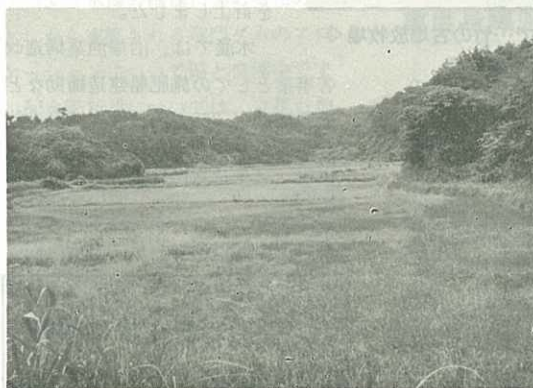
材ユニット基地化をはじめ適性業種の企業誘致・商社機能の確立などを推進するため基盤整備が急務です。

佐賀県でも伊万里湾の特性を生かした大規模臨海工業地帯の形成をもちろみ、先年来、国の協力を受け、湾内の基礎調査・河口湖模型実験・久原ふ頭の整備など、県政の重点施策として開発推進を鋭意図っています。現在までの河口湖模型実験の結果から淡水化に明るい見通しをうることができたことは、工業開発の鍵となる工業用水の確保の面から大きな朗報といえます。

市は、国・県の伊万里湾開発に呼応し、調査負担金をはじめ港湾整備事業に 980万円計上しました。

企画費に基本計画策定委託料として 250万円計上しているのは、伊万里市建設審議会からマスタープランの中間答申を受けたあとと中断されていたものを完成させるもので、そのなかで伊万里湾開発の方向も位置づけたいと思います。

現在の企業育成と将来の企業誘致に重大な関係をもつ工業用水道事業は、事業費の増額から工期を1年延長し、昭和45～46年度継続事業として着手する予定です。



▷東山代町長浜のダム建設予定地◁

こんごの事業費予定総額4億1,175万円のうち、本年度はダム工事を重点に約50パーセントを施工し、47年4月から給水を始める計画です。

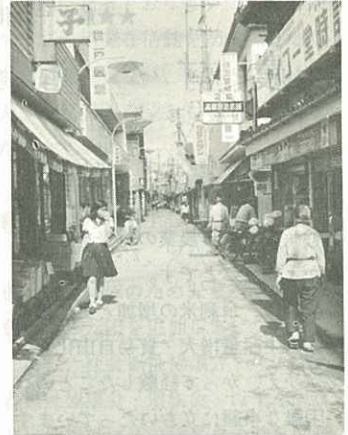
そのため、工事費1億6,781万円事務費958万円の補正をお願いし、財源として国庫補助7,891万円・県補助4,244万円・起債5,200万円・一般会計出資金404万円をあてています。

寿通り街路灯建設へ補助 中小企業振興資金預託金 1,000万円を増額

市内の中小企業は、最近の交通機関の発達・道路網の整備・流通機構の合理化・労働力の逼迫などで、かつてないほど厳しいものがあります。従来からの立ちおくれを解消し、さらに、この急激な環境変化を克服していくには、将来の発展方向をみきわめつつ抜本的な近代化を図る必要があります。それには、共同事業などへの自主的努力を積極的に助長するとともに、環境整備をおし進め

指導面・金融面の措置を通じて近代化を推進しなければなりません。

また、伊万里川改修という市街地を一変させる大事業の実施に当たっては、市としても商店街への指導助成にはできるだけ援助を惜しま



▷街路灯を設置した寿通り◁

せん。

そのため、中小企業振興資金市預託金について、店舗の近代化や伊万里川改修による移転改築など資金需用の増大と商店街振興を促進するため1,000万円増額したほか、貸付限度額もふやしました。

また、商工会議所補助金をはじめ寿通り街路灯建設補助金など171万円・植物防疫庁舎の仮庁舎工事費102万円を計上しました。

観光については、観光レジャー圏の拡大と大衆観光時代の到来に伴い脚光を浴びることが予想されますので、海浜公園の開発や歴史と自然景観の特色を生かした山岳レジャー地帯、さらには窯業・農産物と関連させた産業観光を促進する必要があります。そのため、波多津地区泉源開発ボーリング調査費をはじめ、大平山公園取付道路工事・八幡岳観光道路工事・ボートセンター補助金など総額671万円を計上しました。

旧制佐賀高等学校時代の漢文の教授をしてもらった小田先生が、わたしの市長就任を祝って、伊万里をたずねてくださった。
むかしのこと、いまのことなど、先輩後輩を囲んだよもやま話の中で、わたしは恩師からあたたかい注意をいただいた。
それは、わたしの市長就任のあいさつ状についてであった。あいさつ状の中にある「ご叱声」を「声」とかくのはあやまりで、「ご叱正」とするほうが正しいというのである。そして、先生はさらに言葉を添って「わたしは君の漢文の先生で、もしも君がまちがった字を書けば、それは先生たるわたしがうそを教えたことになる。それはわたしに責任があることであるから、こんな場合、わたしは必ず教え子たちに注意している」といわれたのである。
わたしは、先生の小さなことでも見のがさない厳格な性格に今さらながら敬意を表するとともに、教え子



★★農工一体化と産業の振興★★

農村へも企業を誘致

工業開発を中心とする伊万里湾開発とともにゆるがせにできないのは基幹産業である農業の将来をどうするかということです。

農業は、余剰米の増加と更には農産物の生産量増大・貿易自由化などをかかえ、かつて経験したことのない困難な事態に立ちいたっています

国は、農業の安定的拡大を図るため、総合農政を打ちだしていますが国・県・市・農業団体・全農家をあげて食糧制度堅持の建て前から本市でも米の生産調整に踏みきらざるをえなくなり、昭和45年産米の生産調整数量 1,235トン・面積にして 294ヘクタールの目標を示されました。

この減反という農家の皆さまにとって誠に耐えがたい問題に対して、深いご理解とご協力をいただき、1,425トン・342ヘクタールと目標を上回る結果をえました。

わたくしは、将来の見通しについて苦悩する農業が、いまを転機として発展し、農家経済を安定させるには、企業的農業への脱皮と農工一体化による農業の再編成によるほかはないと考えます。

企業的農業への脱皮には、こんご従来の農政の領域をこえた広い経済的な視野に立つことが不可欠であり特に高生産性農業への展開が必要であると思います。

大川梨振興に パイロット事業を計画

そのため、農業振興地域整備計画を策定し、地形・水系・ブロック別の農業体系を確立するとともに第2次農業構造改善事業が来年から実施

できるように努力します。

園芸振興対策として、大川町立川地区開拓パイロット事業計画に調査費40万円を計上しています。この計画は、開畑11ヘクタール・幹線農道 1,200メートル・排水路 200メートル・防風林 3,000メートル・事業費 2,800万円で、大川梨果樹専業農家の生産基盤を拡充し、自立経営の向上を図るものです。



▷酪農振興は自給飼料の確保で…竹の古場放牧場◁

酪農振興については、自給飼料の好転を図るため竹の古場公共育成牧場整備事業等に補助金 108万円を計上しています。

次に、農工一体化の実現を図るため、内陸工業用地展開可能性調査と水資源開発調査の経費あわせて 200万円を企画費に計上し、積極的に農村への適性企業誘致に努めます。

農道舗装など

小規模土地改良事業重点

山間・山ろく農業の比率が高い本市農業の振興を図るための農業土地基盤整備のうち、特に、小規模土地改良事業は、市民からの要請も強くそのため対象事業費の額と農道補助率の引き上げをはじめ、あらたに樹園地などの傾斜地の農道舗装を対象としてとりあげ 600万円の補助金を

計上しました。

老きゆうため池・干拓・海岸保全・農免道路など県営負担金 1,814万円と井手野地区水源整備事業 179万円も計上しています。

鉱害復旧事業は、志佐川を水源とする東山代町滝川内・下分・川内野地区68ヘクタールの水田が炭鉱の採掘により漏水・河川水減少をみているため、臨時石炭鉱害復旧法によりため池を新設しようというもので、その調査設計に 545万円をあてています。

また、同和対策事業として片竹地区に、1,155万円でファイロンの温室 6棟を建設し、花木類の栽培によって関係住民の所得向上と福祉の増進を図ります。

林業関係は、南波多町笠椎地区外 2地区の林道建設に、656万円・林業振興パイロット事業として腰岳ほか 1地区の作業道の建設に 204万円、入会林野整備事業に 116万円を計上しました。

水産では、沿岸漁業構造改善事業としての施肥船建造補助など振興補助金 359万円、波多津漁港物揚場建設など 1,703万円を計上しました。

工業用 水道室 旧青果市場に移転

東山代町長浜に建設する工業用水道は、本年度着工することになりました。

工業用水道室は、事務の促進を図るため 6月8日から旧青果市場(立花町)に移転しました。

電話は、伊万里・3039番です。この電話は消防署から移転設置しました。消防署へご用のかたは、3019番をご利用ください。

★★快適で安全な市民生活への努力と社会福祉の向上★★
都市下水路事業を新設
大型救急車を購入

都市は、生産活動の場であり、市民生活の場です。これからの都市づくりは、従来とかく遅れがちだった生活の場の整備について格段の努力を傾注する必要を痛感します。

市内の交通事故は、関係機関の努力にもかかわらず悪化の一途をたっています。そのため、交通安全対策を推進するため施設整備費に59万円・交通対策協議会への補助25万円を増額計上しました。

水資源の開発は、生活水準の向上と都市化の進展に伴い急がなければならない課題です。

伊万里市水道事業は、現在、給水人口2万5,000人、1日平均8,000トン水を給水していますが、こんごの需用増を見込み、市民に不便をかけないよう水源の確保に努めるためことしから実施される竜門ダムのアロケーションについて県と交渉中です。配水管新設については、立花台地坂口台地・黒川地区に740万円、消火栓新設に126万円を計上し、積極的に整備を図ります。

滝川内地区には、飲料水が石炭採掘により枯渇したため簡易水道を建設することにし、1,579万円を計上しました。

片竹地区でも、給水施設に除鉄装置を取り付けます。

下水道施設は、近代的都市整備の条件であり、市街地の特殊な地形から都市計画と関連させた抜本的な計画と膨大な経費が必要ですが、とりあえず、都市下水路事業を新設して末端部150メートルをしゅんせつ改良することにしました。これに代わるかんがい用水施設の建設費も含めて905万円を計上しています。

また、同和地区下水路工事74万円衛生処理場の余剰ガス燃焼装置103万円を計上し、環境づくりに努めます。

住宅難緩和のための市営住宅は、立花台地に24戸、同和地区に6戸建設することにして、3,916万円を計上しました。

消防部門では、社会情勢の推移に順応しながら本市の特殊性を考慮し、実情に即した消防体制を確立する計画で、1,818万円を計上しました。

消防団の機動力を強化するため自動車ポンプ1台、小型動力ポンプ積載車5台を購入、あわせて団の合理化、部の統廃合を進める考えです。

急増する交通・産業事故に対処するためには、大型救急車を購入し、人命救護に万全を期します。

重度身障児福祉年金を創設

高令者年金も3,600円に増額

社会福祉向上対策としては、生活保護など一連の福祉行政の効率的運用によって、市民生活の安定と福祉の増進を図るとともに、特に老人・身障児・母子家庭など恵まれない方がたに対する援助に配慮しました。

このため、新規事業として第1に、伊万里市重度心身障害児福祉年金制度を発足させ、その対象児へ年額1万2,000円の福祉年金を交付、身障児の福祉増進を図ります。

第2に、85歳以上のおとしよりに対して支給している年額2,400円の高令者年金を3,600円に増額し、老後の不安を少しでもやわらげたいと思います。

第3に、生活様式の変化・核家族化の進行・扶養観念の後退などによる老人の孤独化は、すでに社会的に

も問題になっておりますが、市老人クラブの活発な活動を助成するため事業補助を行ない、あすへの生活に大きな活力と希望をもっていただきたいと思ひます。

老人福祉センター建設の設計委託料は168万円計上しています。

児童福祉面は、児童の交通事故防止・健全育成のため児童遊園地建設費など55万円を追加しました。

なお、社会福祉協議会・身体障害者福祉協議会・遺族会・母子連盟など民間福祉団体の活発な活動を助長し、恵まれない人々の福祉の増進と自立更生の促進を図るため、これらの団体への補助金247万円を計上しました。

失業対策事業は、報償費など就労者の福利厚生を助長するため1,552万円を計上し、また炭鉱離職者緊急就労対策事業も同様の措置を講ずるとともに市道改良事業の労務・資材単価の改訂と事業計画の変更に伴う経費1,159万円を追加しました。

更に、勤労者の生活改善資金など需用の増大に伴い、従来500万円であった労働金庫預託金を800万円に増額しました。

福祉事務所長に川久保氏

——市職員の人事異動——

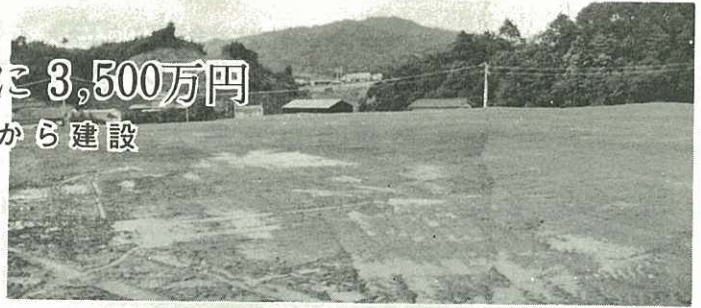
山口福祉事務所長の収入役就任工業用水道室に技術職員の配置などのために6月1日付で市職員の人事異動を行ないました。

異動は、次のとおりです。

▷福祉事務所長=川久保袈裟雄(教委総務課長)▷教委総務課長=武野増見(農業委員会事務局長)▷農業委員会事務局長=大浦大助(土地改良課長補佐)▷工業用水道室係長待遇=川原哲(建設課)▷建設課=前田和宏(総務課付・県出向)▷工業用水道室=川内章(農林水産課)▷同=中村秀夫(土地改良課)▷総務課付・県出向=熊川義尚(労働課)

★★心身ともに健全な市民の育成★★

伊中屋内体操場建設に3,500万円 市民会館もことしから建設



今日、人間性の回復が問題とされ学校をはじめ家庭・社会における情操教育・健康教育の必要が叫ばれています。こんご、心身ともに健全な市民の育成のため、各種の教育施設・体育施設・文化施設などの条件整備と指導体制の確立を進めなければなりません。

以上のような観点にたち、教育費に総額1億695万円を計上しましたおもな内容は、次のとおりです。

義務教育施設整備事業として、小学校では、松浦小の校舎、二里・東山代小の屋内体操場、山代西小の校舎改築などに6,570万円を、また、中学校では、伊万里川改修に伴う伊万里中学校屋内体操場移転建設に、3,514万円を計上しました。

また、44年度に敷地造成を完了した文化センターに市民会館を建設するため初年度分として1億1,379万円を計上しています。従来、本市は各種文化団体が多く、その活動レベルが高い地区と評されながら、その活動の場としての施設がなく、大会式典・講演会など学校施設を借用している実情から市民会館建設にふみきました。

建物延べ面積2,740平方メートル
収容人員1,300人の鉄筋2階建てを
総事業費2億1,973万円・2か年計画で建設します。

市民の健康と体位向上に 「なわとび運動」を推奨

社会文化団体の育成については、青年団・婦人会・文化連盟などへの助成措置を講じ、市民の教育文化の向上を図りたいと思います。

更に、新しい時代の担い手としての児童・青少年を心身ともに健やか

▷伊中建設用地・ことし体育館を建設<

に育成することが今日の最も重要な課題であり、明日の郷土を築くこともたちの身体的・精神的向上を図る見地から、あらたにスポーツ少年団に対して助成措置を講じ、健全な集団活動の促進に資したいと思えます
また、市内小中学校児童生徒の体位が全国的に見て低い位置にあり、一般市民も生活環境の変化によって

健康管理がおろそかになりつつあります。

そのため、全身運動に最も効果的といわれる「なわとび運動」を市民運動として普及させたいと思えます
わたくしは、このなわとび運動が市民の各階層に浸透し、いつまでも続けられて真に市民の体位向上に役立つよう願ってやみません。

★★産業と生活のための道路の整備★★

市道整備の予算 今年の2倍以上

最近の社会情勢の変化並びに自動車の激増により、市民の道路整備に対する要請は非常に高くなっています。これに応えるには、莫大な経費を要しますが、道路が産業・市民生活上から重要な役割を果たすために、これの改善対策には特に意を注ぎました。

即ち、市道整備については、新規に過疎対策事業として2,500万円、橋りよう新設改良事業に650万円、辺地対策事業2,320万円、市町村道整備事業900万円、市単独事業4,950万円、総額1億1,324万円を計上しました。これは、前年度対比2倍以上の伸びを示しています。

また、市営砕石場に設置している大型クラッシャーの能力を更に効率化するため、ベルトコンベアを購入し砕石の生産を倍増させ、市道の維持補修を強力におし進めます。

本町～上伊万里駅線と坂口～脇田

線の街路事業には、1,083万円を計上しました。

4月1日から国道204号線に振り替えになった旧県道伊万里～呼子線は産業観光道路としての役割から早急な改良整備を国県へ強力に働きかけるとともに、県道についての事業負担金1,000万円を計上しました。

歳入

地方交付税今年の20%増

次に、一般会計の歳入について説明します。

自動車取得税交付金は、昨年度の実績に相当する額2,500万円を、地方交付税は、普通交付税で昨年度実績の20パーセント伸びを見込み1億1,550万円、特別交付税4,000万円を計上しています。

分担金負担金は、農林水産業費分担金1,138万円 鉱害復旧費負担金471万円です。

国庫支出金 7,108万円の内訳は、労働費負担金 412万円、学校建築負担金 1,682万円、都市計画費など土木費補助金 3,875万円、消防施設整備事業補助金 205万円、波多津漁港修築事業補助金 849万円がおもなものです。

県支出金 4,924万円のおもなものは、特定事業道路交付金 2,400万円、農林水産業費補助金 2,239万円・商工費補助金 120万円などです。

財産収入は、伊万里川改修による公民館及び伊万里中学校の移転に伴う土地売却収入など 3,231万円です。寄付金 737万円は、炭鉱離職者対策事業による道路新設改良に伴う寄付金などです。

諸収入 8,632万円の追加は、中小企業振興資金預託金元利収入など、1,353万円、産炭地域振興臨時交付金 1,162万円、伊万里川改修による公民館・図書館・伊万里中学校の移転補償など 6,116万円がおもなものです。

バイパス建設に全力を尽くす 坂口～脇田線・本町～上伊万里線建設も促進

なお、竹内市長は、当面する懸案事項について、次のようにのべました。

◎市庁舎の問題は、円満な建設を促進するため、意見の調整を図るな

電気豆知識

テレビに雑音がはいったり、画面がゆれる原因には、つぎのようなものがあります。九州電力営業所か電業所へご相談ください。

- テレビとアンテナを結ぶワイヤー線がはずれかかっている。
- 真空管の故障。
- 近所で理髪店・美容院などの小型モーターを使用しているとき。
- けい光灯の故障。
- 近くで、高周波マシンか治療器を使用しているとき。

立花台地開発の

基本設計費を計上

立花台地開発事業特別会計は、2,550万円を追加しました。

この事業については、市議会・立花台地開発調査特別委員会で審議をしてもらっておりますが、将来の開発について総合的な基本計画をたてることが緊急の課題であろうと考え地形測量・開発の基本計画実施設計に840万円を計上しました。

また、開発促進に必要な道路の用地購入費として635万円、幹線道路事業費に828万円一時借入金利子136万円などを予定しています。

一時借入金は、事業計画に充当する資金の借入れの増加をみこみ2,000万円を

追加し、1億8,000万円にしました。

以上、補正した各会計の予算規模は、次のとおりです。

一般会計予算総額	29億 4,083万円
特別会計	5億 6,955万円
企業会計予算収入総額	3億5,111万円
支出総額	3億6,691万円



▷立花台地の市営住宅・ことは24戸を建設<

ど、慎重に対処したいと存じます。

◎ 駅南開発事業は、最近の市街地の交通事情の悪化から国道202号線バイパスの建設が急務と考えられるので、当面その早期完成に全力を注ぐ所存です。

また、市街地とバイパスを結ぶ幹線取付道路坂口～脇田線は、立花・坂口台地の開発とも関連するため本町～上伊万里駅線街路事業とともに開発公社資金の運用などにより早期開通に努める考えです。

◎ 伊万里川改修問題は、すでに伊万里公民館・伊万里中学校・労働基準監督署など公共機関の移転決定をみ、昨年来、一般市民の移転交渉が進められている段階です。

わたくしは、できる限り、移転者の立場を考え、移転先や融資のあっせんなどに万全を期したいと思います。

なお、伊万里川上流は、ほとんど改修され、市街地における水害の再発が憂慮されますので、改修促進について関係者のご理解とご協力をお願いします。

◎ 昭和42年激甚災害の復旧事業について報告します。

災害復旧事業か所 2,184か所・総額23億9,609万円のうち44年度までの3か年間に事業費で83パーセントが終了しました。本年度は193か所3億9,812万円が全部が完了することになります。

本年度事業の内訳は、公共土木関係71か所・8,468万円・農林水産関係122か所・3億1,344万円となっています。

本年は、いよいよ最終年度を迎え引き続き皆さまのご協力をえて、これの完成に努めます。

どこからでも少しずつでも改善を

最後に、市議会・市民の皆さまに一言お願いします。

市民生活の高度化並びに多様化は膨大な行政に対する需用を生むことになり、これに対する市の財政は必ずしも豊かなものではありません。

限られた財源をもってしては、広範かつ多岐にわたる市民の要求をいっきよに満たすことは、極めて困難な問題です。

しかし、わたくしは、勇気をもって、どこからでも少しずつでも、きり開き市民の要請に応え、豊かな伊万里市建設をめざしてまい進する考えです。議員並びに全市民の皆さん微力なわたくしですが、どうかわたくしの意のあるところをお汲みいただいて全幅の信頼とご協力をお願い

します。

農林漁業振興共同化資金 融資枠を1億5,000万に

◎ 市農林漁業振興・共同化資金

利子補給・損失補償条例を一部改正して、最近の資金需用の増大とあらたに花木の植栽、肥育牛購入資金等にも活用できるよう融資枠を5,000万円ふやし、1億5,000万円にしました。

◎ 大川内市営住宅30戸を居住者に払下げることにしました。

満江市議に叙勲

三市議も永年勤続で受賞



▷満江市議◁



▷田代市議◁



▷久重路市議◁



▷楠田市議◁

市議会議員の満江光次氏（瀬戸町70歳）は、長年、議員として地方自治発展に貢献されたとして、このほど勲4等瑞宝章を受けました。

昭和12年4月伊万里町議員に当選、昭和29年から34年3月まで市議会副議長、同年4月から42年4月まで8年間議長をつとめ、議会の円満な運営を図り市の発展に努力されました現在も議員として活躍中です。

特に昭和29年4月、2町7か村合併のときは合併促進委員として日夜関係方面の説得に当たり、伊万里市誕生の布石を築きました。

また、次の三氏は永年勤続議員としてこのほど全国市議会議長会から表彰をうけました。

三氏とも昭和30年4月以来、ことし4月まで4期15年の長い間議員として市の発展に貢献し、その功をたたえて表彰されたものです。

田代正男氏（56歳・大川町）
久重路重五郎氏（50歳・山代町）

楠田福義氏（45歳・大川町）

衆院選で大臣表彰

—— 市選挙管理委員会 ——

市選挙管理委員会（岩永貞委員長）は、昨年12月に行なわれた衆議院議員選挙の適正管理と明るく正しい選挙の推進に努め、すぐれた投票成績をおさめたとして秋田自治大臣から表彰をうけました。

投票率は、82・18%で県内7市のうちで最高の成績をおさめ、明るく正しい選挙を進めるため選挙特集号を発行するなど選挙啓発に努めました

岩永委員長は、31年の参議院議員選挙で全国市区選管連合会から表彰を受けたが大臣表彰は初めてだ。受賞できたのは市民の協力があったこそで、こんごも市民のいっそうの協力をお願いし、明るく正しい選挙と投票成績の向上に努めたいと語っています。

所得税第1期分は 7月31日まで

減税申請は7月15日まで

所得税第1期分の納期限は7月31日です。振替納税を利用しているかたは、7月31日までに預金の準備をしてください。

つぎのような理由で、すでに通知した予定納税額よりも少なくなると見込まれるかたは、減額申請を7月15日までに税務署へ提出してください。申請書用紙は、税務署にあります。

△廃業・休業・転業または、失業したため所得が減るとき。

△災害・盗難・横領などで所得が減ったり、雑損控除が受けられることになったとき。

△本人や家族が病気になり、多額の医療費を要し、医療費控除を受けられるようになったとき。

△納税者について、配偶者控除が受けられることになったり、扶養親族がふえたとき。

△業界の不振のため、昨年の所得よりも相当少なくなる見込みのとき。

工業出荷額120億円

高生産性の木材木製品工業

昭和44年12月31日現在で調査した工業統計の結果がまとまりました。

新建材工業都市をめざしてから8年、その間、企業誘致も進み、工業出荷額は120億2,000万円に達しました。

調査結果のあらましをお知らせします。

出荷額・前年より52%増加

事業所は230・従業員5,321人です。出荷額は120億2,000万円、前年よりも41億円・52%のノビです。内訳をみると、合板製造など木材木製品工業が66億4,000万円で総額の55%を占め、新建材工業都市として発展していることを物語っています。

東洋プライウッドの操業・伊万里合板の工場拡張などで、昭和43年に比べ24億3,000万円増加しました。

伊万里陶業の増設・伊万里窯業団

地の新企業建設などで増加が見込まれる窯業関係は、前年よりも、4億1,000万円増加し、18億5,000万円になりました。

ついで食料品製造が12億円で、この三つが市の代表工業といえます。

木材工業の生産額1人当341万円

これら3業種の1事業所・1人当たり生産額をみると、木材木製品が1事業所当たり2億860万円・従業員1人当たり341万円で、他業種に比べ高い生産性を示しています。これに対して1事業所当たり窯業関係が3,484万円、食料品1,431万円・

1人当たりでは、窯業196万円・食料品222万円で、一部企業を除くとその零細性を知ることができます。

誘致企業の出荷額78億円

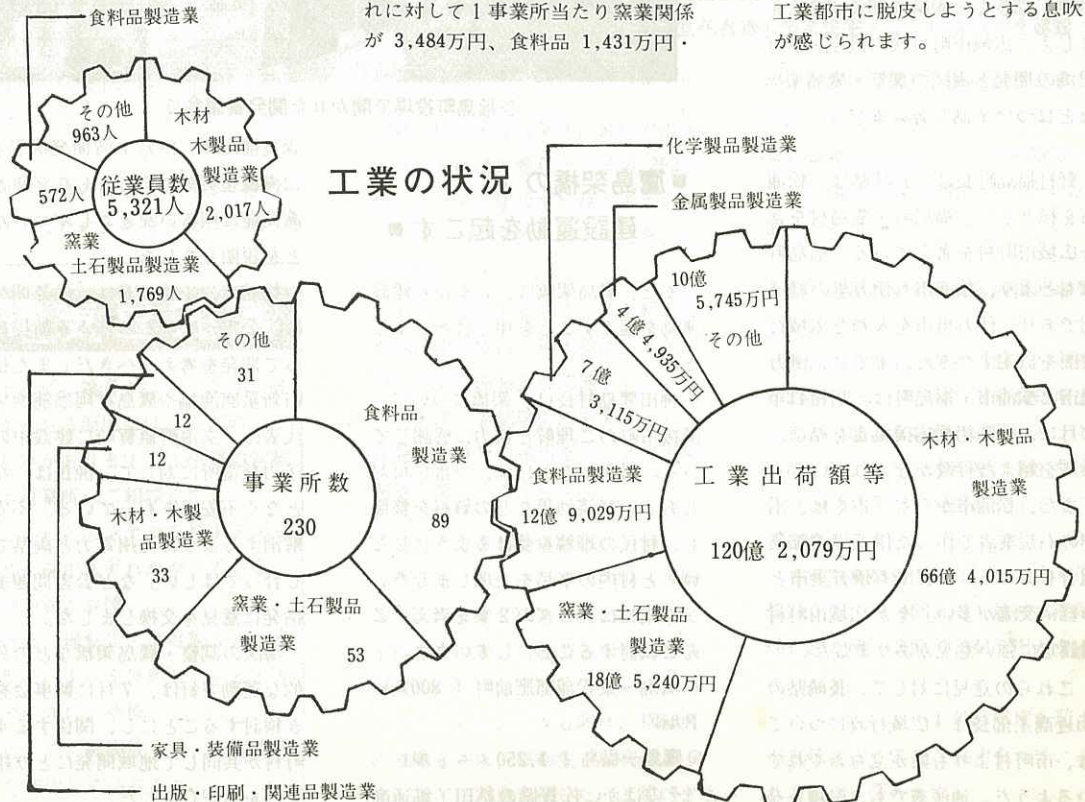
既存企業と誘致企業に分けて出荷額をみてみましょう。

工業出荷額120億2,000万円のうち、誘致企業は、14社で78億1,000万円・65%を占めています。石炭産業にかわるものとして誘致した企業は、市の産業に大きな役割を果たしています。

ことしは、これら企業の順調なノビと岩尾磁器工業浦の崎工場の操業でさらに大幅な増加が期待されます。

昭和35年の出荷額は10億5,000万円でした。昭和39年にラクダ産業・伊万里合板の操業があり、24億5,000万円と2倍以上になり、以後、40年に34億6,000万円・41年45億円・42年53億円・43年79億円と順調にふえています。

昭和35年を基準とした出荷額の増加割合は、県が昭和40年2.42倍・44年5.04倍になったのに対し、市は、40年3.29倍・44年11.43倍と急増し工業都市に脱皮しようとする息吹きが感じられます。



地域開発は県境をこえ

伊万里湾開発審議会開催

伊万里湾開発審議会の総会が、6月3日、長崎県福島町役場で開かれました。

この審議会は、伊万里湾に面する伊万里市をはじめ、長崎県松浦市・福島町・鷹島村の4市町村長・議長農漁業や商工業の代表など36人で構成されています。昭和41年10月、県域を越えて、文化・産業の開発にとり組もうと設けられたものです。

■4市町村で

広域行政圏を作ろう■

総会は、昭和44年度事業と決算・45年度の事業と予算を承認したあと会長に宮原松浦市長・副会長に竹内伊万里市長と神田鷹島村長を選任、任期を2年に改正しました。

この日、佐賀県経済部次長・長崎県商工部長など両県の関係者8人をまじえ、広域市町村圏の設定・伊万里湾の開発と海図の調整・鷹島架橋などについて話し合いました。

野村福島町長は「長崎県は、松浦市を核として、福島町・鷹島村を含む広域市町村を考えている。福島町はもとより、松浦市も伊万里の経済圏であり、伊万里市を入れた広域行政圏を設定すべきだ。すでに、伊万里市と松浦市・福島町は、昭和41年2月に、消防相互応援協定を結び、県域を越えた行政がなされている」

また、松浦市からも「古くは、沿岸の石炭業者で作った伊万里湾鉱業組合もあった。いまでも伊万里市との経済交流が多い」など広域市町村圏設定に強い意見がありました。

これらの意見に対して、長崎県の山近商工部長は「広域行政については、市町村よりも県が立ちおけているようだ。通産省でも、県境をな

くした開発を進めるように指導している。こんごは、問題解決に積極的に努力したい」と答えました。

■入港船舶の安全のため 海図を調整■

伊万里湾の海図は、明治35年に作成され、その後、沿岸の埋め立てやしゅんせつなどは、そのつど修正さ

れています。しかし、沖合いの水深は、作成当時のままです。長年月を経過し、水深の変動も考えられます

伊万里港に入港する船舶が増加しており、航行の安全を守るため、また、伊万里湾開発を進める基礎資料としても新しい海図を調整する必要があります。

しかし、海図を調整する測量船は九州地区で、第7管区海上保安本部に1隻しかなく、響灘や関門地区の調査に追われています。早急に、伊万里湾の調査ができるように強力な運動を行なうことにしました。



▷福島町役場で開かれた開発審議会◁

■鷹島架橋の 建設運動を起こす■

また、鷹島架橋は、いまから建設運動を起こすことを申し合わせました。

神田鷹島村長は「架橋について、隣接市町のご理解と協力に感謝している。村民のなかには、一部に反対もある。経済効果などの資料を整備し、村民の理解を受けるようにしたい」と村内の事情を説明しました。

架橋には、つぎの2案を考え、こんご検討することになっています。

○鷹島—東松浦郡肥前町（800メートル）

○鷹島—福島（1,250メートル）

そのほか、佐賀県の林田工鉱通商

課長補佐は、伊万里湾開発構想と河口湖模型実験のあらましなど伊万里湾開発に明るい見とおしがついたことを説明しました。

松浦市の小松議長は「産業開発には、公害が必ずあるという前提にたって開発を考えるべきだ」また松浦市新屋鹿漁協や鷹島村阿翁浦漁協の代表は「玄海町値賀崎に建設中の原子力発電所に対して、漁民は、なんとなく不安感をもっている。不安を解消するように九州電力と両県で話し合ってほしい」など公害問題まで活発に意見を交換しました。

海図の調整・鷹島架橋などの具体的な運動方針は、7月に幹事会を開き検討することにし、関係する4市町村が共同して地域開発にとり組むことを確認しました。

市政に市民の声を 市政モニター決まる

45年度の市政モニター26人が決まりました。

モニターは、助言者・勧告者とも呼ばれ、市民の立場から市政に対する意見を述べていただきます。

第1回会議は、7月3日に開き、来年3月までの活動をお願いすることにしています。

ことしの市政モニター (いろは順)

住 所	氏 名	年 令	職 業
二里町内の馬場	池田 昭八	37	農 業
大坪町下古賀	池田ハツヨ	56	農 業
山代町楠久津	川久保竜二	68	商 業
大川町立川社宅	古賀 常子	38	主 婦
大川町川原	古藤 貞子	48	主 婦
黒川町畑川内	坂本 東	47	農 業
伊万里町今町	清水 孝	38	病院事務
新 天 町	鈴木 録男	35	飲 食 店
波 多 津 町 浦	須藤 治俊	23	商 業

東山代町里	田中 徳男	35	商 業
東山代町長浜	寺沢 敏男	41	商 業
波多津町浦	橋口 熊吉	49	商 業
南波多町重橋	嶋山 邦彦	42	商 業
松浦町宿分	原 兼雄	42	農 業
二里町瑞穂町	日浦 喜伝	60	洋 裁 業
松浦町下分	樋渡サダ子	52	酒 造 業
南波多町古川	堀田 節次	22	農 業
山代町浦の崎	松永 桂子	33	主 婦
大坪町白野	丸田 林樹	44	農 業
立花町東円	三溝 直裕	44	宅 地 建 物 業
二里町東八谷	村岡 隆男	42	農 業
山代町楠久	山口 勝広	42	飲 食 店
大坪町柳井町	山口幸之助	66	新聞販売
大坪町柳井町	山口呈太郎	55	商 業
木須町東	山口美代治	43	公 社 員
東山代町福住	若松 益男	50	電 工

市民交通傷害保険に 加入しよう

たばこは

市内で

松浦町 愛煙家

市たばこ消費税は、二十本入り一箱で十三円十八銭と聞いている。市内で買えばそれだけ多く市の収入になる。

あちこちの市町村では、それぞれの区域で、多く買うようにと、サービスをしている。一例をあげれば、たばこマッチに、観光図案や消費宣伝の字句を刷りこみ、たばこを買ったときにサービスしている所もある。外出先などでライターやマッチを忘れたとき・なくしたときなど非常に助かることもある。伊万里市でも実施できないか。

〔おこたえ〕

税務課

ご提案のマッチデザインも検討したことがあります。しかし、配布方法に問題があり実現していません。いまは、「広報いまり」や「ポスター」で協力を呼びかけています。ご提案の方法やそのほかたばこ消費税の増収になる方法など、さらに検討します。

昭和四十四年度のたばこ消費税の収入は六千四百二十万円

消費税の収入は六千四百二十万円。道路や学校建設など市のたいせつな財源となっています。市民のご協力をお願いします。

道路工事の

騒音をなくせ

陣内町一住民

陣内地区の東部は、住宅建設がふえ、市の発展を物語っている。しかし、伊万



〔おこたえ〕 建設課
伊万里中学校の校舍移転に伴い、いままでの排水路が敷地造成のためにつぶれるようになりまして、これにかわる排水路を造る必要があります。給食センター前から岩栗ヶ丘団地に通ずる市道百四十メートルを掘削し、排水暗きよを施行しているものです。
掘削する幅三メートル・深さ三メートルは、ほとんどが岩盤です。沿線は、住宅が多く、火薬の使用が限定されます。破片が飛ばない黒色火薬を使い、機械掘削をするほかに方法がありません。その音が高くご迷惑をおかけしています。
八月に完成予定ですのでしばらくごしんぼうください。竹内市長も六月十四日の雨の日に現場を視察し、工事を急ぐよう指示しました。

里中学校横から陣内へ通る市道の改修工事が三月から始められ、騒音に困っている。特に、産婦・乳幼児・病人など安眠もできない。人件費の節約が、地区住民に騒音をもたらしているようだ。
また、工事の完了まで、学園高校の校庭や上方の住宅地区から流入する水を除くように揚水ポンプを設置してほしい。

この工事は、伊中の移動敷地造成と関連し、地区住民の要望にこたえて施行されています。
二期の排水については工事施行の段階で十分検討しご迷惑をかけないようにいたします。

大陣岳林道が完成

観光にも一役

松浦町岳坂地区で、5月25日林道（大陣岳線）・市道（岳坂～梅岩線・提川～川西線）の開通式が行なわれました。

大陣岳林道は、岳坂部落から大陣岳（標高266メートル）頂上のNHK伊万里・松浦テレビ中継所の近くまで通ずる長さ1,840メートル・幅員4メートルで、一般林道開設事業の44年度補助事業として認められたものです。総工事費は1,363万円、国県55パーセント・市15パーセント・地元が30パーセントを負担しました。なお、この林道開設にはNHKが全面的に協力し、地元民から感謝されています。

市道一岳坂～梅岩線は、梅岩～岳坂間159メートル・幅員4メートルで200万円をかけ市単独事業で完成しました。

提川～川西線の市道は、昭和40年から手がけ、炭鉱離職者緊急就労対策事業により5年がかりで約2キロメートル（幅員6メートル）を改良、このほど完成したものです。この改良には約3,000万円を要しました。

開通式には、地区民をはじめ、竹内市長や吉田県林務課長など関係者多数が出席、竹内市長と吉田県林務課長が紅白のテープに鉋を入れたあと、車で通りぞめを行ないました。



▷テープを切る竹内市長(左)と吉田課長(右)◁

中島岳坂区長は、林道開設を機会に、こんご構造改善を進める一方、大陣岳観光開発に力を入れる計画だと語りました。

88歳のおばあちゃんも出場



▷口をもっと大きく開けて◁

伊万里向陽園（吉岡園長）の運動会が、5月28日園舎横の広場で開かれました。同園には、98人（男34人、女64人）のおとしよりが生活しています。開園以来、初めての催しとあって各種目とも趣向をこらした「ボール送り」や「杖を拝借」など15種目にわたって競技しました。

全員紅白の鉢巻をしめ、88歳のおばあちゃんをはじめ、ほとんど全員が参加してにぎわいました。

縄文時代の土器の特色を列記します。

〔早期〕

人間が土をこねて形をとり、焼いて器（うつわ）をつくることをおぼえた最初のもので、今から8,000年前のもので、もっとも古いものが約1万2,000年前といわれています。形は、底がとがつたもの・丸いものがほとんどです。これを尖底土器といいます。500～600度の低温度で焼成しているため、土器の表面はあらく、なかには砂を混合したものもあり、非常にもろい土器です。

文様は、土器の表面に細い粘土ひもをはりつけた簡単な隆起線文や土

市民の考古学

縄文時代 ②

器の口の部分につめで文様をつけた爪形文・クシでひっかいたようなクシ目文・棒に○や山形をきざみ、土器の表面に押しつけて文様をつけた押型文などがあります。

伊万里地方でも同種類の土器片が発見されています。主として煮沸用具として利用していたようです。土器片にスガが付いたものも発見されています。

〔前期〕

この時代になりますと、形・文様もだんだんと発展してきます。

座りが良いように底が平らになり、胴部がくびれて変化に富むようになります。さらに、現在使用されている急須（きゅうす）のようなものも現われはじめます。

文様も縄目の文様が、多種多様な形で使用されています。しかし、九州の土器には、縄文はほとんどなく、ヘラのようなものでつけた幾何学形の文様が多いようです。地域的に特色があったことを示しています。

筆者は県博物館開設準備事務局

森醇一朗氏

（佐賀郡川副町犬井道字野村11区）

伊中移転敷地の造成終わる

自衛隊第4施設大隊の手で

伊万里中学校は、伊万里川拡幅のため校舎の一部を移転することになっています。

市は、移転に必要な敷地1万平方メートルの造成工事を陸上自衛隊に要請、長崎県竹松駐とんの第4施設大隊の協力で、このほど工事が終わりました。

椎野伊万里作業隊長ほか18人の隊員は、4月21日から蓮池町の婦人会館に泊り込みで作業を進めました。作業は、早朝から夕方7時まで、昼食も交代でとるなど、予定よりも20日間早く終わることができました。

その間、伊万里中学校・市教育委員会職員は、隊員とソフトボールやバレーボールで親睦を深め労をねぎらいました。

造成敷地の引き渡し式は、6月15日伊万里中学校で行なわれ、竹田津師団長から竹内伊万里市長が受け取りました。

6月16日は、伊万里中学校ブラスバンドと生徒・職員全員の見送りを受け、竹松駐とん地へ帰隊しました。



▷造成を終え帰隊する隊員◁

チクロ入りは食べぬ・買わぬ運動を

伊万里生活学校 清涼飲料水を実験



◁実験する生活学校の人たち▷

伊万里生活学校（岡本采子委員長）は、5月13日に開校、6月3日は、清涼飲料水や牛乳の添加物について学習しました。

添加物を抽出する実験は、長時間かかるため、5月29日、保健所の指導で事前実験をすませ、報告しました。

○実験した12種類の飲料には、チクロは添加されていない。

○禁止されている着色剤の使用もない。

○県内で製造される清涼飲料にチクロは添加されていない。

○全糖の表示は、チクロを添加していないという意味である。

○コーラには、リン酸が入っているため歯に悪く、血液を酸性にするおそれがある。

チクロは、安くて、少量でも甘く味が良いものです。しかし少量でも毎日食べていると、体内に蓄積し、突然症状を表わす発がん性があります。

チクロの使用は、全面的に禁止されましたが、びん入りの清涼飲料水を除いて、販売は9月まで延期になっています。チクロ入り食品には、「サイクラミン酸塩入り」の表示があります。

伊万里生活学校は、つぎのようなことを申し合わせました。

△チクロ入り食品は、買わぬ・食べぬ運動を進めよう。知らない人にも教えよう。

△ぬき取りテストをしよう。疑わしいものは保健所へ届けよう。

△自然食を食べるよう努力しよう。

＊ ＊

生活学校は

毎月第1水曜日 9時30分～12時
中央公民館第1学習室で

くらしの中で困っていること・疑問のあること・希望したいことなどを持ちより解決するものです。

希望されるかたは、遠慮なくご出席ください。

市内で初めて献上米を作る

脇田町の樋渡さん



▷樋渡さん◁

献上米の田植式が6月10日、脇田町岩立樋渡円蔵さん（70歳）の水田3アールで行なわれました。品種はうまい米として県

が指定している「日本晴」です。

10月の取り入れまで精魂をこめて栽培し、宮中をはじめ、明治神宮・靖国神社などへそれぞれ1.8リットルずつ献上します。

市内で献上米が作られるのは、戦後初めてです。

樋渡さんは、伊万里町議会議員を勤めたこともあり、地区の人望を集めています。

献上は、10月中旬に行なわれる予定です。

富士町の松尾茂幸さん

北米で養鶏の武者修業

ことしの研修生も募集中



▷松尾さん◁

富士町の松尾茂幸さん(19歳)は、北米へ2年間の農業研修のため6月29日、羽田を出発しました。

松尾さんは、伊万里商業高校を卒業のあと、県の農業研修学園で1年間養鶏を学習、さらに研修しようと渡米したものです。北米では、初めの6か月は大学で残りの1年半は、養鶏農家で実習しながら技術を身につけます。

帰国後は、養鶏農家として自立する計画です。

派米農業研修生制度は、昭和40年に始められ、全国から毎年200人が渡米しています。県内からは、すでに26人が研修を受け、県農業の新しい手として活躍しています。

松尾さんは、市内から初めての研修生です。

松尾さんの派米壮行会は、6月12日、市役所で開き、竹内市長・松園市農協長などが出席、激励しました。

また、松尾さんといっしょに農業研修学園を終了した稲葉正和さん(波多津町辻)・橋口美千代さん(木須町西)・木須景子さん(木須町東)・前田久子さん(大川町長野)には記念品を贈り、こんごの活躍を期待し、激励しました。

＝派米研修生を募集＝

農業研修生派米協会は、ことしの研修生を募集しています。

▷応募資格

- 昭和19年7月1日から27年6月30日まで生まれた独身男子。
- 昭和45年3月までに高校または、

- それ以上の学校の卒業生で、現に農業に従事し、将来も農業経営にあたらうとする意思強固な方。
- 英語の基礎理解力があり、性質明朗な方。
- 酒乱など悪いくせや反社会的行為がない方。
- 結核・性病・色盲・精神障害などがなく、継続的な農業労働に耐えられる方。

- 両親・兄弟・姉妹のいずれかに、米国市民権を有するかたがなく、いままでに米国移住の申請をしたことがない方。

▷応募期限 7月25日

▷申込先と書類

- 佐賀市内1 佐賀県庁企画農政課
- 申込書・健康診断書(いずれも上記申込先に準備)と戸籍抄本
- 酪農・肉牛・養豚・養鶏・果樹・野菜・観賞園芸の専門コースを記入すること。
- ※詳しいことは、市役所農林水産課へお問い合わせください。

国民年金給付額を増額

国民年金の保険料は、7月から年令に関係なく450円になります。

いままで、35歳未満250円・35歳以上300円でした。

給付額を大幅に引き上げたために改正したものです。また、昭和47年7月からは、月額550円を納めることになります。保険料を一挙に引き上げると、被保険者に大きな負担をかけることになり、2段階に分けて引き上げます。

改正給付額

	現 行	改 正
老令年金	6万円	9万6,000円
障害年金	6万円	9万6,000円
母子年金	5万5,200円	9万1,200円
遺児年金	3万円	9万1,200円

保険料は月450円に

保険料は、豊かな老後のため、いつ起こるかかわからない事故に備え忘れずに納めましょう。

どうしても納付困難な方は、市役所市民課にご相談ください。

国民年金委員が誕生 お気軽にご相談を

国民年金委員129人が誕生しました。6月16日、中央公民館で県知事の委嘱を受け、国民年金制度の話を聞き研修しました。

年金委員は、被保険者・受給権者に対し、届けや請求の指導援助・制度の趣旨普及など国民年金事業の円滑な運営の手助けをします。

委員は、民生委員が兼任しています。

国民年金について、お気軽にご相談ください。



▷委嘱を受ける国民年金委員◁



親睦ふかめたスポーツ少年団

市スポーツ少年団本部・伊万里ライオンズクラブが主催する市スポーツ少年団第2回大会は、5月31日伊万里中学校で15団（323人）が参加して開かれました。

市内には、剣道や陸上などスポーツ少年団が23団（約600人）あります。

団の活動振興と親睦をはかり、健全な少年を育成する目的で開いたものです。

大会は、午前8時30分に伊万里駅前集合、同駅から伊万里中学校まで市中行進。伊万里中学校で大会を開き、夏秋ライオンズクラブ会長や竹内市長などから激励のあいさつを



▷伊中グラウンドに勢揃いしたスポーツ少年団◁

うけました。式後は各団対抗のソフトボール競技を行ない牧島陸上スポーツ少年団が優勝しました。

スポーツ少年団の結成希望があれば、市教委社会教育課または、各町公民館へご相談ください。

固定資産税評価額あがる

固定資産税の課税対象になる土地は、3年ごとに評価替えを行いません。ことしは、評価替えの年にあたり、このほど評価を終わりました。

その結果、宅地などの評価額は、かなり上昇しました。

上昇した評価額で課税すると、いきなり多額の税負担をしなければなりません。毎年少しずつふやし、しだいに評価額による税負担に近づける方法をとっています。これは、評価額の上昇割合に応じて、税負担の限度を前年分の10～40パーセント増とするものです。

宅地など農地以外の土地に対する固定資産税の算出方法は、つぎのとおりです。

44年度課税標準額×負担調整率×税率(1.5/100)

負担調整率は、つぎの表のとおりですが、上昇率は、38年度評価額に対する45年度評価額の上昇割合のことです。

上 昇 率	負担調整率
3倍未満	1.1倍
3倍以上～8倍未満	1.2倍
8倍以上～25倍未満	1.3倍
25倍以上	1.4倍

農地に対する課税は、昭和38年度分の課税標準額をそのまま適用します。

民 謡 で 楽 し く

地区民と手をつなぐ大川町青年団

大川町青年団宿分団(樋口一利分団長・団員14人)は、区民に呼びかけ、民謡講習会を開いています。

民謡を楽しみ、地区住民と心のつながりをもとうと始めたもので毎月第1・第3土曜日の夜、宿公民館で開いています。参加した住民は「なごやかで楽しい」また、樋口団長は「予想以上に希望者が多く喜んでいる。こん

ごは、区民に親しまれる民謡をとりあげたい」と話しています。



▷大川町宿青年団の民謡講習会◁

窓 口 案 内

⑬ 出生・死亡届

出生や死亡など、戸籍に異動があったときは、出生・死亡届を生まれたところ、死んだところの市町村役場に届け出なければならないことになっていましたが、4月1日から本籍・住所・居所どこの市町村役場に届けてもいいようになりました。

他市町村の病院で死亡したときなど、入院先の市町村役場に届け出なければならない不便がありました。自分の住所地に帰ってから届け出ることができることになったものです。ただし、届け出の期間は従来どおり出生は14日・死亡は7日以内です。

青少年 水泳教室
母親 水泳教室

青少年水泳教室を開きます。
 ▷対象者 小学校3年～6年生で泳げない者
 ▷参加料 200円
 ▷開設期間 7月27日～7月31日
 毎日10時から12時まで
 ▷場所 大坪小・東山代小
 ▷指導目標 25メートル以上の泳力を持つように指導し、修了者にバッジを交付します。
 ▷申込の方法 父母の承諾を得て、各学校を通じ教育委員会へ申し込んでください。

伊万里水泳クラブは、母親の水泳教室を開きます。希望者は、伊万里商業高校木村紘一郎先生へ、お申し込みください。

▷対象者 15歳以上で泳げない健康な女性
 ▷受講料 1,000円
 ▷募集人員 40人(20人以下であれば中止します。)
 ▷内容 25メートル以上泳げるようになります。
 人工呼吸法の理論と実技
 ▷開設期間 7月27日～7月31日
 毎日10時から12時まで
 ▷場所 伊万里商高プール

妊婦検診

7月14日 9時30分～12時
 波多津小島医院
 7月21日 13時～14時30分
 南波多小島医院
 大川出張所

郵便局員募集

郵便局の内・外務職員を募集しています。
 ▷応募資格 昭和19年4月2日～昭和27年4月1日生まれの健康な男子(福岡・北九州・長崎・鹿児島各市の内務職員は女子でも可) 東京地区外務職員は、昭和4年4月2日～30年4月1日生まれの健康な男子 来年3月高校卒業見込みの男子。
 昼間の大学・短大在学者は受験できません。

▷申込受付 7月10日～7月25日
 受験申込書は、近くの郵便局にあります。
 ※詳しいことは、お近くの郵便局にお問い合わせください。

乳児検診

▷対象者 昭和44年7月1日から昭和45年6月30までの出生児
 ▷日時と場所
 7月13日 南波多出張所(南波多)
 7月15日 柳井町公民館(伊万里・黒川・大川内)
 7月16日 柳井町公民館(大坪・牧島)
 7月20日 波多津出張所(波多津)
 ※時間 13時30分～14時30分

たばこは
市内で買いましょう

市内でたばこを買えば、20本入1箱から約13円の「たばこ消費税」が市に入ります。昭和44年度は6,042万円が収入になり、道路・学校建設など市のたいせつな財源になっています。



寄付ありがとうございました

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼を申し上げます。(敬称略)
 社会福祉事業費へ

- ▷参千円 山口ヤイ(山代町西分 亡父瀧藏)
- ▷五千円 中山利光(木須町西 亡長男光彦)
- ▷五千円 金ヶ江キエ子(東山代町長浜 亡母マツ)
- ▷参千円 山田幸財(山代町楠久津 亡姉シツ)
- ▷五千円 中尾金盛(大川町川西 亡母ハル)
- ▷老万円 原田正信(脇田町陣内 亡長男正昭)
- ▷老万円 高木繁行(大川町立川 亡父新)
- ▷老万円 前田ツタ(立花町西川 亡夫三九郎)
- ▷貳万円 諏訪武二(上土井町 亡母タカ)
- ▷五千円 永尾虎市(山代町東分 亡妻エイ)
- ▷参千円 松村梅吉(二里町金武 亡母チト)
- ▷五千円 山下信良(脇田町陣内 亡父秀雄)
- ▷老万円 東山正光(大川町山口 亡父治八)
- ▷篤志寄付 長谷川文男(大阪市生野区舍利寺町) 伊万里警署署長(伊万里警署署長)
- ▷老万円 岩永亮二(搦町 亡父秀一)
- ▷老万円 工藤初枝(大川内町平尾 亡父松尾甚助)
- ▷参万円 田中裕士(二里町作井手 亡妻ミヨ)
- ▷老万円 前川正義(大川町陣内 亡長男正昭)
- ▷老万円 高木繁行(大川町立川 亡父新)
- ▷老万円 前田ツタ(立花町西川 亡夫三九郎)
- ▷貳万円 諏訪武二(上土井町 亡母タカ)
- ▷五千円 永尾虎市(山代町東分 亡妻エイ)
- ▷参千円 松村梅吉(二里町金武 亡母チト)
- ▷五千円 山下信良(脇田町陣内 亡父秀雄)
- ▷老万円 東山正光(大川町山口 亡父治八)
- ▷篤志寄付 長谷川文男(大阪市生野区舍利寺町) 伊万里警署署長(伊万里警署署長)
- ▷老万円 岩永亮二(搦町 亡父秀一)
- ▷老万円 工藤初枝(大川内町平尾 亡父松尾甚助)
- ▷参万円 田中裕士(二里町作井手 亡妻ミヨ)
- ▷老万円 前川正義(大川町陣内 亡長男正昭)
- ▷老万円 高木繁行(大川町立川 亡父新)
- ▷老万円 前田ツタ(立花町西川 亡夫三九郎)
- ▷貳万円 諏訪武二(上土井町 亡母タカ)
- ▷五千円 永尾虎市(山代町東分 亡妻エイ)
- ▷参千円 松村梅吉(二里町金武 亡母チト)
- ▷五千円 山下信良(脇田町陣内 亡父秀雄)
- ▷老万円 東山正光(大川町山口 亡父治八)
- ▷篤志寄付 長谷川文男(大阪市生野区舍利寺町) 伊万里警署署長(伊万里警署署長)
- ▷老万円 岩永亮二(搦町 亡父秀一)
- ▷老万円 工藤初枝(大川内町平尾 亡父松尾甚助)
- ▷参万円 田中裕士(二里町作井手 亡妻ミヨ)
- ▷老万円 前川正義(大川町陣内 亡長男正昭)
- ▷老万円 高木繁行(大川町立川 亡父新)
- ▷老万円 前田ツタ(立花町西川 亡夫三九郎)
- ▷貳万円 諏訪武二(上土井町 亡母タカ)
- ▷五千円 永尾虎市(山代町東分 亡妻エイ)
- ▷参千円 松村梅吉(二里町金武 亡母チト)
- ▷五千円 山下信良(脇田町陣内 亡父秀雄)
- ▷老万円 東山正光(大川町山口 亡父治八)
- ▷篤志寄付 長谷川文男(大阪市生野区舍利寺町) 伊万里警署署長(伊万里警署署長)

市庁舎建設基金へ
 ▷香典返しを寄付
 ▷五千円 前田ツタ(立花町西川 亡夫三九郎)

教育振興奨励基金へ
 ▷香典返しを寄付

市民会館建設基金へ
 ▷篤志寄付
 ▷貳万円 川原鶴次(松島町)
 (S45・6・20現在)